

令和2年度(2020年度)公共事業再評価調書

基準年月日 令和2年8月1日

Table with 4 columns: 調書番号 (08-16), 所管部 (建設部), 作成責任者 (建設部土木局砂防災害担当課長 松田 哲夫), 担当係 (砂防係(内) 29-401)

I 基本事項(基準日時点)

Table with 4 columns: 事業種別 (総合流域防災事業(急傾斜)費(社会資本整備総合交付金)), 地区名 (長万部高砂1), 市町村名 (長万部町), 事業費 (1,289百万円), 負担割合 (国45%, 道55%), その他 (580百万円, 709百万円)

Table with 4 columns: 事業目的・目標 (土砂災害から地域住民の生命、財産を守るため...), 事業概要 (長万部高砂1急傾斜地崩壊対策事業は、人家、要配慮者利用施設、町道などを保全対象とし、土砂災害からこれらの保全対象を守ることを目的とした急傾斜地崩壊防止施設(土留柵工)の整備を行うものである。), 工事費内訳 (計 700, 1,289)

Table with 4 columns: 総合計画での位置付け (施策名: 大規模自然災害対策の推進, 総合計画: 中項目: 強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮, 総合計画: 小項目: 大規模自然災害対策に対する北海道自らの脆弱性の克服)

II 公共事業評価経過 (単位: 百万円)

Table with 10 columns: 事業経緯 (事前評価, 前回評価, 今回評価), 事業費 (総事業費(a), 道負担額, 当該年度事業費, 累積事業費(b), 進捗率(b)/(a))

変更理由・内容 事業費の変更及び事業期間の延伸 (1)詳細設計に伴い土留柵工の施工延長の増及び積算基準の改定などによる (2)資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による (3)残事業量により事業期間を精査したことによる

III 事業採択前の状況

Table with 4 columns: 1. 事業採択に至る経過と背景 (当該箇所は、崩壊性の高い脆弱で不安定な土壌を有する急傾斜地である。), 2. 事業検討の経緯 (住民ニーズの把握等) (H26年(2014年)6月 地元住民、長万部町からの整備要望。), 3. 事業効果を及ぼす地域・対象 (長万部高砂1地区 人家: 27戸、要配慮者利用施設: 1施設、建設会社: 1施設、町道: 0.59km), 4. 関連する事業

IV 事業の実施状況

Table with 10 columns: (1) 事業実績及び今後の計画 (施工(工種)区分, 工事内容, H27, 28, 29, 30, R1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 進捗状況, 事業費(百万円)), (2) 進捗状況 (土留柵工(L=43.5m)が完了。詳細設計に伴い土留柵工の施工延長が増し、残事業量により事業期間を延伸したが、今後の実施に当たっては、特に大きな支障となるものはない。)

Table with 4 columns: 2. 事業効果 (経済効果の内訳(百万円), 費用の内訳(百万円), B/C, 備考 (「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2年)「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」(国土交通省H11年)に基づき算出。))

Table with 3 columns: 3. コスト縮減などの取組 (取組の項目, 取組の内容, 縮減額(百万円))

V 評価									
1. 必要性	●本事業は、土砂災害から地域住民の生命、財産を守ることが目的であり、その事業効果が大きい。また、崩壊性の高い脆弱で不安定な土塊を有する急傾斜地であり、事業の必要性に変化はなく、事業を継続して推進する。								
	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。</td> </tr> </table>	a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。						
a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。								
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題 ●対策施設の配置により既存植生が失われることを最小限にとどめるため、植生の保全や早期回復に有効な土留柵工を採用する。								
	(2) 事業推進に対する住民の動向 ●長万部町から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。								
	(3) その他の課題 ●特になし								
3. 事業達成の見込み	事業計画に影響を与えるような状況変化や事業推進に影響を与える重大な懸念事項がないことから、事業目的の達成が見込まれる。								
	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。</td> </tr> </table>	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。						
a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。								
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、長万部町から早期完成要望も受けているため、R7年度（2025年度）の完成を目指し、事業継続する。								
	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>a：継続 b：終了 c：休止 d：中止</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>事業期間の変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業費の変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業内容変更の有無</td> <td>目的・規模等に係る変更 無</td> <td>左記以外の変更 有</td> </tr> </table>	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止	事業期間の変更の有無	有	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無
a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止								
事業期間の変更の有無	有	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 有			
VI 備考									
1. 評価履歴									
2. その他の取組事項									

補足資料

VII 事業計画変更												
事業期間	再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事前評価又は当初		H27 (2015)	H28 (2016)		H32 (2020)			700	385			
変更①			H28 (2016)	H28 (2016)	H34 (2022)			909	499			
変更②	1回目		H28 (2016)	R2 (2020)	R7 (2025)			1,289	709	5	147	11%
変更③												
変更④												
変更⑤												
変更⑥												
変更⑦												
変更⑧												
変更⑨												
変更⑩						5						
変更理由・内容		<p>変更①：事業費の変更及び事業期間の延伸 詳細設計に伴い土留柵工の施工延長の増による。 残事業量により事業期間を精査したことによる。</p> <p>変更②：事業費の変更及び事業期間の延伸 積算基準の改定や資材、労務単価の上昇及び消費税率の変更による。 残事業量により事業期間を精査したことによる。</p>										

長万部高砂 1 総合流域防災事業（急傾斜）（社会資本整備総合交付金）



事業の目的

- 土砂災害から地域住民の生命、財産などを守るため、急傾斜地崩壊防止施設の整備を行う。
- 当該斜面には、降雨や融雪水の浸透による表層崩壊が随所に認められ土砂災害のおそれの高い箇所である。
- 土留柵工の整備を行い、人家、要配慮者利用施設、町道などを土砂災害から守ることを目的とする。

事業概要

長万部高砂 1 急傾斜地崩壊対策事業は、人家、要配慮者利用施設、町道などを保全対象とし、土砂災害からこれらの保全対象を守ることを目的とした急傾斜地崩壊防止施設（土留柵工）の整備を行うものである。

土留柵工 断面図

